

平成18年9月13日（水）

○議長（上田順康君）順番20、32番 井上君。

〔32番（井上勝彦君）登壇〕

○32番（井上勝彦君）おはようございます。私も合併をして3回目の一般質問、登壇させていただいております。今回は、発言事項3件ございます。

まず、第1件目でございます。第1件目につきましては、自主防災コミュニティセンターの建設についてのお尋ねでございます。

この件につきましては、平成17年10月31日付で、平山城自治会長、応其板橋自治会長、応其団地自治会長、応其区長、消防団第2分団第6部部长という各代表の方々より、陳情書、請願書が出されまして、続いて17年12月1日には、伏原自治会、消防団第2分団第4部部长の方々の代表の方も出されて、2カ所出されまして、昨年12月議会で委員会付託をされ、採択、本会議で可決になっておる案件でございます。引き続き、橋本市へ、新市へ移ってきたわけなんですけれども、このコミュニティセンターにつきましては、新市になりましてお聞きしたところ、旧橋本市という、こう名前、呼ばせていただきますけれど、新市なんでございますけれども、橋本地区には7カ所と、それから旧高野口地区にあと3カ所は必要やということで、10カ所のコミュニティセンターが必要であると。これは、市民の生命・財産を守るとともに、市長が言われております「安全・安心、住みよいまち、住みたいまち、住んでよかったまち」にしていくためには、大事な施設であると。

また、自主防災組織をそれぞれの自治会で立ち上げをしていただいて、推進をしているところでございます。特に、応其地区は橋本市の新興、新しい住宅と同じように、か

なり建て売り等々も増えてきまして、非常に道路状況も複雑化してきております。新しい橋本市なり、京奈和自動車道の関係で、応其地区につきましては、現在ある消防施設は、ちょうどこの角っこになりまして、事故が非常に多くなってきております。道路が広がったので。旧大和街道の角っこにありまして、消防も、防災の消防団の出動等々にも非常に困難を来しているということで、特にそういうお願いがあったわけです。

また、そういうことで、建設用地も合併までに既に話し合いが持たれて、新しい道路は、伏原田原線というのは、今現在、工事進行しておるわけなんですけれども、その空き地が150坪ほどあると。それを新市へ引き継いで、確保しておきますということになっておるそうでございます。

そういったことで、全体的な計画の中で、橋本市全体の10カ所の中で、どういうふうな計画を今後続けて行かれるのか、そういうことで、一応お尋ねをいたしたいと思います。

このことにつきましては、既に旧名倉地区、高野口地区の中の名倉地区、名古屋地区、名古屋地区というのは浦之段ですけれども、それから向島地区の3カ所は既に建設済みでございます。それをつけ加えておきたいと思えます。

それから2番目に、公営住宅の建設についてであります。昨日、11日、12日と3名の同僚議員も質問されております。中身につきましては、私がお聞きしたいこととよく似ておるわけなんですけれども、年次計画があればお示くださいという中で、私、そこでちょっと部長にお聞きしておきたいんですが、基本的には公営住宅というのは、ちょっと教え

ていただきたいんですが、公営住宅というのは、どういう目的で最初建設するようになったのか。目的というのはどういうことで、公営住宅というのはこれだけ増えたのか。そのところを、いっぺんちょっとお聞きしたいと思います。そういった中で、公営住宅そのものが必要であるかということになってこようかと思えます。

私の知るところでは、旧高野口町では平成13年、旧橋本市におきましては平成14年に、要するに公営住宅の総合的な活用計画ということで、現地の建て替え、移転、個別改善、維持保全、用途廃止、そういったものを団地別に選定して見直していくということが出されております。

建設部長もご存じのとおり、ご存じやと思えますけれども、旧高野口町の公営住宅につきましては、払い下げができるところは払い下げを実績として、やってきておると聞いております。私も知っておりますが、大野団地についても、払い下げが終わっておると思いますが、再度お聞きしたいと思います。住吉団地も払い下げが終わっておると。それから、応其団地の一部も払い下げが進んでおると。進んでおるといふか、やっている。

そういうことで、高野口町におきましては、公営住宅の払い下げも含めて実績としてあるわけなんですけれども、橋本市、旧橋本市の場合はどれだけのがあるか、はっきり私も調べてないのでわかりかねますが、そういうことで見直しをかけております。

そういう中で、私、2番目に、特に東明団地については、既に1,000坪の建設用地が確保されておりますということが書いてありますが、書き方がちょっと具合悪かったんですけども、特に東明団地の東側に、東隣なんですけども、総合的な公営住宅の見直しをするということを経験に、前提に、まず1,000坪の

空き地といふか、住宅用地として確保しておこう。その中で、今現在、新市になっておりますので、総合的な橋本市の老朽住宅、そういう公営住宅の中での見直しの中で、まずその1,000坪の住宅用地として確保されているところへ、払い下げをする部分と、要するに改修をしていく部分と、きちんと早期に計画を立てて、そして、その建設用地へいったん空けんことには、今の建っているところへ建て替えるといふのは至難のわざであると。だから、いったん1,000坪のところへ空けて完全に、払い下げする場合であれば、その老朽住宅そのものを払い下げする部分についてはやっていくといふことで、そういう意味合いでいっぺん、当局の計画の時期といふものを教えていただきたいと思えます。

それから、3つ目につきましては、橋本市高野口町から大阪圏への直通トンネルの早期実現についてといふことであります。

これは、私の同僚議員とともに取り組んでいこうやないかといふことで、地域の企業の皆さん方ともいろいろ話が出ておまして、もう2年前から、これに再三私も一般質問させていただきまして、前課長の答弁、前町長の答弁もいただきまして、要するに371号線をまず完成をさすと。これは第一条件ですけども、あと、かつらぎ町の480号線、その後へでも、あとその後へ、3番目に、一応高野山の参詣に至る、世界遺産として登録されております、今現在、橋本市の西部の端になるわけなんですけれども、高野参詣大橋、今現在、市道8号線になっておるわけなんですけど、九重まで相当真つすぐきれいな道路が整備されております。そこから河内長野の外環状線まで、聞くところによりますと約3kmほどあれば大阪へ抜けると。あと外環状までは、あんまりカーブがぐによぐによ曲がらんでも、外環状まで行けるといふことも聞いておりま

す。

そういうことで、一応、今後「紀北は一つ」という大きな構想の中で、私たちの郷土の文化と地域をますます向上・発展させていき、付加価値をつけるために、大阪との直通トンネルをみんなの力で実現したいという地域の声も非常に大きいわけでありまして、その点について、市長のお考えをお聞きしたいと思います。

以上で、壇上での質問を終わらせていただきます。また、議席のほうで質問させていただきます。

○議長（上田順康君）32番 井上君の一般質問に対する答弁を求めます。

市長。

〔市長（木下善之君）登壇〕

○市長（木下善之君）おはようございます。井上議員のご質問にお答えをいたします。

大阪府への直通トンネルの構想につきましては、旧高野口町議会でもご提言をいただいておりますのでございまして、国道24号を走りますと、高野口小学校の横へ大きな看板を立ててあるのが、常見させていただいておりますのでございます。

現在の市道高野口8号線、県道九重名倉線を利用し、府県間トンネルを経て外環状線へつなぐという大きな構想でございます。実現すれば、橋本市を中心とする、橋本・伊都地方の交通アクセスが向上するものと思われませんが、実現にはいろいろと数多くの高いハードルがございまして、一つ一つそのハードルを越えなければならないものと考えておるところでございます。

また、現在は国道371号バイパスについて、橋本市と伊都郡の各町で協議会を、もう随分以前から立ち上げておるわけでありまして、その整備促進に向けて、要望活動を積極的に進めておるわけでございます。和歌山県及び

大阪府においても、最重要路線として、毎年多くの予算を投入していただいておりますのが国道371号でございます。

したがいまして、この直通トンネル構想については、地域の発展につながる重要事業ということは、よく理解できるわけですが、当面は国道371号バイパスの早期開通に向けまして、全力で取り組んでまいりたいと考えておりますので、ご理解をお願いをいたしたいと思います。

なお、残余の件につきましては、担当参与よりお答えをいたします。

○議長（上田順康君）総務部長。

〔総務部長（中山哲次君）登壇〕

○総務部長（中山哲次君）それでは、井上議員の、防災機能を兼ね備えた自主防災コミュニティセンターの建設について、お答えをさせていただきます。

本市の防災体制の整備につきましては、火災や風水害、地震に強いまちづくりをめざし、鋭意努力しているところでございます。今世紀前半での発生が懸念されております東南海・南海地震による大きな被害が危惧されている中、これらの被害を最小限に抑えるため、今年度において、防災行政無線の基本計画や地域防災計画の策定に取り組んでいるところでございます。また、自分たちの地域は自分たちで守るという意識を共有した自主防災組織の設立、育成をめざしまして、自助・共助による活動の重要性についての啓発活動を進めているところでございます。

議員おただしの、消防納庫を併設した防災コミュニティセンターにつきましては、地域の防災の拠点として、また、地域のコミュニティづくりの場として、重要な施設であるということは深く認識をいたしておりますが、今後の消防納庫を併設したコミュニティセンターの整備につきましては、非常に厳しい財

政状況の中、旧市・旧町の継続事業や、広域ごみ処理施設建設に伴う支出増も予測されますので、今後の課題とさせていただきます、よろしくご理解のほど、お願い申し上げます。

○議長（上田順康君）建設部長。

〔建設部長（坂本信良君）登壇〕

○建設部長（坂本信良君）橋本市の市営住宅は36団地、管理戸数は928戸で、構造的には木造159戸、簡易耐火構造平家建て253戸、簡易耐火構造2階建て344戸、準耐火構造建て144戸、耐火構造建て28戸であります。

建設年度は、昭和25年から平成7年度に建設されていますが、昭和20年から30年代に建設された木造住宅は153戸、その後、昭和30年から40年代に簡易耐火構造平家建て、簡易耐火構造2階建て住宅が426戸建設され、耐用年数及び耐用年数2分の1以上を経過した戸数は、管理戸数の約6割を占めております。

したがって、以上の状況を踏まえ、団地別に建て替え、個別改善、維持保全、用途廃止の活用を考えながら、住宅の需要ニーズに合った住宅・住環境の向上を図っていくため、旧高野口町では13年、旧橋本市では14年度に作成した、町・市住宅ストック総合活用計画の見直しを早急に行い、高齢化や身体障害者対応等、多様化する入居者特性に適合した住宅計画を立てる必要があります。

そこで、1点目のご質問につきましては、市営住宅の中で建て替え計画をしている団地は、旧橋本市で5団地、旧高野口町で4団地の計9団地であります。建て替え予定年度計画につきましては、市営住宅ストック総合活用計画の見直しの中で、地域の住宅状況及び入居者特性に適合した建設年度計画を作成してまいります。

2点目のご質問につきましては、旧高野口町の時期に建て替えの計画があり、土地開発公社において、建て替え予定用地6,389㎡の確

保をしておりますが、建て替え予定時期につきましても、新市長期総合計画策定後に、市営住宅ストック総合活用計画の見直しを進め、ストックを総合的に活用するための計画作成を進めてまいりたいと考えております。

なお、公営住宅の設置目的につきましては、戦後の混乱期におきまして、住宅の需要が非常に大きくなったことから、公営住宅法を制定し、低額所得者に低廉な家賃で賃貸することを目的として設置してございます。

以上でございます。

○議長（上田順康君）再質問ありますか。

32番 井上君。

○32番（井上勝彦君）コミュニティセンターについては、今後検討をしていくと。大事な施設であるということで、総務部長のご答弁でしたが、このコミュニティセンターにつきましては、今、部長が言われたように、自主防災組織が既に立ち上げていただいて、自主的に研修もし、そして陳情を出されておる中身といたしましては、陳情もそちらにあると思うんですが、要するに、既に橋本市から予算をいただいてということじゃなくて、自治会が自主的に、そういった防災についての機具とか毛布、そういったものを買われて、そして、そういうものも、やはりきちっといつでも取り出せるように、自主防災センターというのはそういう機能を、自主防災の一番拠点になるんですわ。

向島の、今、新しい自主防災コミュニティセンターにつきましては、向島地区のコミュニティセンターが一番新しいんです。ほんで、いっぺん部長行かれてあるのかどうかわかりませんが、そこらの点をいっぺん見ていただいて、そして橋本市全体で10カ所、そういう中で割り振りをして、自主防災の一番、市長が言われております、市民に安全・安心、住みよいまち、住みたいまちと、これ

をしていくためには、やはり、まず安全・安心でなければ、住んでもらう人も、山崩れ、そういう危険なときにあるのは、そういうところにも、こういう防災の施設もあって、安全であるというふうなことであれば、そういった大きな面で整備をしていくことが人口の増なり、そういう、まちのためになってくるので、それは一番大事なところだと思いますので、今後検討していくということじゃなくて、一つずつつくっていくと。一つずつつくっていくと。10個いっぺんにつくってくださいと言っるとのと違うんですから、一つずつ年度計画でやっていくということで、約3,000万円も要らんのだと思うんですが、その施設は二千七、八百万円で十分、2,000万円あまりで十分いけると思うんですわ。消防機具庫も入れてですよ。そこらいっぺん、年次的に計画を立てて整備をしていくと。そういうことであれば、自治会もまた力を入れて自主防災に積極的に力を入れていくと。こういうことになりますので、支援できるところはきちっとやっていくと。

応其地区については、やっぱり現場を見に行っていて、あそこでええんかどうかというのを見ていただいて、検討したってほしいと。このように思います。

それ、ちょっと答弁いただけますか。年次計画について。

○議長（上田順康君）総務部長。

○総務部長（中山哲次君）まず、一番新しい向島の防災センター、私も現地を確認させていただいてございます。非常に立派な建物でございます。

議員ご指摘のとおり、確かに、私ども、今、我々自身も防災に対する研修なり受けております。そうした中で、地震災害等の発生した場合には、やはり行政の救援部隊が現地に到着するのが、どの先生に聞いても二、三日は

かかりますよというようなことで言われております。そういうことを言われますと、私ら市の職員としても、意味深々な受け取り方はしておるんですが、現実にはやはり地震が発生しますと、地域地域における自主防災組織、救命活動、初期消火活動が非常に重要であるということでも、認識はいたしてございます。

ただ、議員ご指摘のとおり、市全体で10カ所という中で、1カ所ずつでもということにつきましても、当然、必要性は十分認識はしてございます。ただ、あまりここでお金の話を申し上げたくないんですが、非常に厳しい財政状況、財政運営を強いられておるという中で、議員ご質問、ご指摘の部分については、深く認識をさせていただいて、今後の財政運営、政策調整の中で、大きな課題として認識させていただきたいということで、ご答弁にかえさせていただきたいと思っております。

○議長（上田順康君）32番 井上君。

○32番（井上勝彦君）全体として、市長、助役もお耳に挟んでいただいておりますので、部長のほうから予算要求をして、一つずつやっていくということを、ひとつお願いをして、1つ目は終わります。

公営住宅につきましても、部長おっしゃったとおり、低所得者用として建設を進めたわけですね。平成7年には公営住宅法は改正されて、私も28件の住宅にかかわったことがありますので、ちょっとぐらいは、ちょっとぐらいしかかじってないんですけども。

今、旧高野口町でもそういう払い下げができるところは払い下げをして、橋本市、何件したのかとお聞きしたやつ、答弁もろうてないけど、それはまあいいとして、住宅そのものについては、7万都市の中で、7万人の橋本市の中で、今、928件、空き家、105戸かな。空いているのは。105戸ぐらいは空いていると思うんですが、空き家があると。部長、空き家

というんですか、その住宅へ行かれたこと、ずっと回られたことありますか。

○議長（上田順康君）建設部長。

○建設部長（坂本信良君）全住宅は回っておりませんが、旧高野口につきましては、西之島、東明等につきましては、ぐるり周囲を見させていただいております。

○議長（上田順康君）32番 井上君。

○32番（井上勝彦君）回っていただいたらわかると思うんですけど、空き家が105戸。もちろん私、真土のほうも、それからこっこの橋本市では細川ですか、あそこにもあるし、ある程度、全部が全部回ってないですけど、一通りちょっと回らしてもらうて、部長、聞いておられるかどうかわかりませんが、105戸の空き家にイタチ、ネズミ、そういうのがすみついて、ムカデも上がってくるし。で、猫。イタチや猫に家賃くれとも言えやんしの。いや、ほんまによ。そういうことで、近所が、住んでる人、まじめに家賃を払って住んでる人に迷惑かかるとということもあります。草がぼうぼうで、とにかく蚊が増えてしゃあないやと。こういうところもあります。夜になると、その空き家にイタチがいて、ごそごそごそとやるわけなんです。床も落ちてますから、住めない状態ですね。

ですから、年次計画を立てるいうて、見直しをかけます、かけますでほっておくと、かえって迷惑施設として、空き家がそのまま105件ですよ。私、改修して困った人入れよというんじゃないんです。それは高くつきますから。だから、先日来、議員も言われてたとおり、きちんとした計画を一日も早く立てて、そうして、元を入れるところは入れて、要するに悪い住宅は全部取りのけて、そして、権利のあるところについては、半分でもいいから払い下げをして、建て替えなら建て替えを推進していくところはしていくと。

9団地と言うてましたけども、928のうちの、要するに私の試算では390軒ほどのところへ、毎晩話を持っていけば、意見が出ると思うんですわ。うちは払い下げで結構ですとか、お年寄りひとり暮らしやから、家賃高いところ要らるので古い住宅へ行きたいとか、建て替えをして、やっぱり若い人は建て替えてでも、低所得、給料が安いから、新しいところ建てて、また何年か住みたいということも、いろいろな意見あると思うんです。それをやっぱり実行に移して、あしたからでも解決をしていく方法を考えやんと、もうこのまま一般質問終わったら、もう来年までほっておいたらええわと、こうなると思う。

ですから、そういうことはないと思いますけども、総動員で住宅問題については、実際に、私、ここでこんなこと言うたらなんですけども、例えば東明団地の場合、なぜここで東明団地の名前を入れてあるかと言うたら、駐車場がないんですね。夜、いっぺん部長行ってください。道に、双方に車が駐車場がわりにとめて、歩くのにも精いっぱい。行き詰まり。そして、平成何年やったかな、あそこで火災が起きまして、橋本市全体住宅、行き詰まりのところあると思うんですけど、真土なんかでもね。そういうところで火災が起きまして、幼い子どもが2名亡くなりました。真っ黒焦げでした。私、公営住宅でこういうことが、悲惨な事故が起きて、何としても公営住宅そのものをきちんと整備したいと。私はその子を抱いて伊都病院まで走ったんですけども、いまだに涙が出てきます。涙が出てきます。そういう整備がされておったら、助かったんじゃないかなという気持ちで、私はいっぱいなんですよ。

そういうことをやっぱり知っていただいて、西之島団地でもそうですよ。火災起きて、私、走っていきました。皆さん、消防自動車入ら

ないから、バケツで消すのに、それはもう総動員で消しましたよ。そういうことを含めて、早急に住宅の見直し、これを徹底して、早急に新市の中で取り組んでいただけたらありがたいと思いますので、もう一度ご答弁願います。

○議長（上田順康君）建設部長。

○建設部長（坂本信良君）議員の言われること、私どもも十分承知しているわけでございますけれども、何分にも法的な手続きを踏まえないことには、譲渡なり用途廃止ができない状況になっております。このことにつきましては、過日の一般質問で廃止、用途廃止、及び譲渡等についてのご質問があった中で、ご説明させていただいたわけでございますけれども、大きな流れといたしましては、再度おさらいになりますけれども、新市の長期総合計画によって人口フレームが確定されますと、ストック活用総合計画の中で、それぞれの団地の方針が打ち出されます。その方針につきましては、市独自で決めることができません。これは国土交通省の承認がないと、譲渡なり、それから廃止の承認が必要になります。その辺の事務手続きをしていきますと、通達等によりまして、それぞれ事務手続きを進めればいわけでございますけれども、やはり市といたしましても、議員おただしのよう、維持管理が非常に高くついております。政策空き家をも含めて、空き家戸数が105戸というところの中で、やはり行財政改革の一環として、このことにつきましては、積極的に取り組んでまいりたいというふうに思っております。

○議長（上田順康君）32番 井上君。

○32番（井上勝彦君）そのことにつきましては、国土交通省へも出すのは出していくということもよくわかります。計画を早く立てて、そして国土交通省なり厚生労働省ですか、そ

ういろいろな方面で、予算の取り方というのはいろいろ勉強して、我々も陳情に行けと言われてたら行かせてもいただきます。

伏原の28戸の、28戸、伏原団地というのがありますが、これは4階建てでエレベーター付きで、今、大阪方面からでも視察に毎年来てくれるんです。それにつきましては高齢者と、それから要するに若い夫婦、夫婦者、若い方も住んでもらうように。家族の多いものは、5人以上は3LDK、2LDKと、こういうふうに区別をして、やった経験があるんです。当時の総務課長が必死になってやってくれて、立派なものをつくって、非常に好評がいいんです。家賃も滞納がありません。いいものをつくればね。

そういうことで、環境改善ということで、やっぱり前向いてやっていただけたら、全体的なものについては、減らすのは減らしてもいいんですけども、要するに見直し計画を早く出して、国の予算をもらえるように、計画案だけつくっていただけたら、みんなでもた国のほうへお世話になっていくと。補助金の、起債を起こして何年ぐらいで返せるかという計算をすればすぐわかるんです。30戸の経験があるんですから、28戸の。きちっと出せますからね。何ぼ補助金もろうて、国と県と。市が何ぼ借金した。それを家賃に乗せたらええだけのこっちゃからね。何ぼ建てたら何ぼ要するというのがわかるんやさかい。それをやってほしい。再度お願いしておきます。

あと、時間も少なくなりましたんですけども、まだありますか。市長の答弁をいただいたわけなんですけども、トンネルの話ですね。大阪直通トンネル早期実現。これ、371号を先行してやるということで、これは当然のことです。当然のことです。これはやっていただきたいと、私たちも、もうそれは早く開通してほしいなと願っております。

ですが、一応この西側、この大動脈となる8号線におきましても、今現在、市道なんですけども、いろいろ難問を越えていかなきゃならんと思いますが、子や孫のために、この371号線だけでは本当の意味で意味がなさんのと違うかと。高野山、世界遺産という雄大な大自然があるわけですから、九度山町にも慈尊院という世界文化遺産、天野大社、そういう世界遺産が目の前に、地元にあるわけなんですから、紀北をちょっと考えた場合ですね。そういう意味で、この霊峰高野山を、そのいう天皇陛下さんの息子でも楨を選んでくれる、こういう立派な世界遺産があるんですから、そこを中心にした大阪圏とのトンネル直結、これは私、今、今、きょうやあしたやってほしいとは言っておりません。しかし、声を上げて、やっぱり事務的に、これは管轄は建設課長になるんかな、総務かな。トンネルについては、農林、あれは高野参詣大橋は農林水産省の、農林省の管轄で、予算もらって橋がついたんですわ。橋本の橋は建設省やったけどな。ほんで、そういう農林省の管轄でもいいんですよ。ウルグアイで赤い橋つきました。

そういうことですので、どちらでもいいんですけども、事務的に一応そういうことも要望があるということに、声を上げていただきたい。

私は地元の衆議院の先生、先生と言ったら怒られる、衆議院議員の皆さんに、衆議院の石田議員、石田国会議員、それから何ていうんですか、衆議院の先生か、ほんで、鶴保先生とか、そういう方に声かけてあります。市長も産業文化会館で私言うたときに笑ってましたけどね。えらい大きなこと言うな。覚えておると思うんですが、石田先生来られたときに、トンネルつけてよと言うて再々声出してあります。

そんなことで、これからの運動にかかっておると思うんですけども、一応頭の隅に置いていただいて、前向きに検討していただけたらと思いますのやけども、371号を中心にやって、その後、事務的にいっぺん手続方法を、部長かだれかやりますということをちょっと聞かせてよ。

(「ちょっと要望上げてきて」と呼ぶ者あり)

○議長(上田順康君) 市長。

○市長(木下善之君) 井上議員の地元の、紀北川上地域の活性化に向けて、本当に熱意を示されておりますことに、本当に力強く思います。やはり、この地域の橋本市におきましては、経済圏というのは大阪を向いておるわけですね。これは、やはり我々としても一日も早く371号をまず完成させて、そうして悪いんですが、その次に、この、やはり高野参詣道もございませし、高野口のインターもございませし、それから6車線ぐらいのものになるかも、4車線になるか2車線になるかわかりませんが、これは次の段階として、それはもう十分心にとめておきたいと思えます。

せっきくの機会であるので、ちょっと申し上げておきたいんでございませしが、371号のことにつきまして、これはもう重々議員の皆さんはよく存じておると思えますけども、やはりこの伊都で組織しておりまして、首長なんかで、我々で。この間からも大阪の近畿整備局6局長さんへ、あるいは大阪府庁のほうへも陳情に、371号のことについて行っております。木村県知事のところへも相前後して先刻からも行っておるわけでございますけども、また、10月に入りましたら東京陳情、これも年にやはり何回となしに取り組んでおるのは確かでございます。

私としましては、やはり五條市は大阪からの310号線がございませ。これも、やいやい五條市言われてますけども、やはり中心になる



のが、五條からも隅田を通過の都市計画道路が入ってますから、これはもう確固たるもので371号を一日も早く、1年でも早く完成する必要がありますと、そう思っとるわけでございますので、480号も、実はこの間、河内長野の橋上市長さんのところへ、大阪府の陳情は橋本から行ってもええ顔してくれないんです、府は。これはやはり、先頭は河内長野の市長が先頭で、我がめら一緒にやっていくということの中で、この間、橋上市長さんのところへも1時間近くお願いに行きしております。近く、ほいじゃ設定させてもらおうという中で、ご了解をいただいておりますので、そのときにあわせて、この480号を帰りに通ってきました。平道路のね、小さいトンネル2つ抜けて。和歌山県側はほとんど完成というか、格好ついておりますけれども、和泉市の区間の長大トンネル、葛城山の、3,700mですか、長さですよ、長大トンネル、長さ申し上げておる。3,750mですか、その向こうにまだ和泉市に1,200mほどのトンネルの構想がありまして、外環状へ抜けるのには相当な時間がかかるなど、私、つぶさに見せていただきました。そういう中から、やはり371号をもっと早く進めないかん。そういう気持ちでいっぱいでございますので、議会の議員の皆さん方も一層パイプを太くして、そうしてお願いに、陳情をしてまいりたいと考えておりますので、よろしくをお願いをいたしたいと思いません。

そういうことで、十分な答弁になりませんが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長（上田順康君）32番 井上君。

○32番（井上勝彦君）全体としてお耳に届けていただいたと思ひます。

コミュニティセンターにおきまして、財政難の折でございますので、公営住宅につきましては一日も早くやることが行財政改革の

一環になるやにも私は思ひますので、ほっておけばほっておくほど、管理とか、あるいはそういう面でかなりお金もかかってくる。元をかけるところはかけて、そして売却するところは全部売却していくと。例えば、売却すれば住吉団地なんかでも大野でも、逆に固定資産も入ってきますしね。家賃の取り立ての心配も要らんし、家賃の取り立てについても私は言いたかったけど、新市になってからしっかり頑張ってもらって、これは何も住んどの人の責任でもあるけども、まじめに払ってもらおうとする方の立場に立ったら、やっぱり遅れた部分については行政の怠慢として、やっぱりしっかりと集金方法を考えて、早く解決をしていくということも含めてお願いをいたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。

どうもありがとうございました。

○議長（上田順康君）これをもって、32番 井上君の一般質問は終わりました。

この際、11時10分まで休憩いたします。

（午前10時55分 休憩）